

1月24日

### えこまち推進協議会で外国人観光客への対応学ぶ アウトドアガイド向けの英会話講習会開催



ツアーを想定して

てしかがえこまち推進協議会エコツーリズム推進部会(藤原仁部会長)では1月24日、町内のアウトドアガイドの皆さんを対象に英会話講習会を開催しました。

増加している外国人観光客に対応できるようにと企画されたもの。講師は、通訳案内士の資格を持つ本町の地域おこし協力隊員・小林由紀子さんと、7人が参加しました。講習会ではツアー実施時の安全対策に係る英会話を中心に学習。実際にスノーシュー(西洋かんじき)を履いたり、カヌー乗船を想定した道具の使い方や注意事項などを実践しました。

同部会では今後、宿泊施設などを対象にした講習会も開催したいとしています。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐかけつけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 482-2913 (課直通)

2月3日

### 火の大切さやエネルギーについて学ぶ LPガス協会釧路支部が弟子屈小学校で講座



コッパがある火おこし

北海道LPガス協会釧路支部(武田勝宏支部長)の皆さんが2月3日、弟子屈小学校(佐野哲哉校長)5年生に「炎の出前教室」を行いました。

人間と火との関わりや、エネルギーと環境問題への理解を深めてもらおうと、同支部が釧路管内の小学校で行っているもので、同校では4回目。同支部員のほか同支部弟子屈分会の上村保範会長など12人が来校し、人間が火と関わってきた歴史や、同支部が行う防災への取り組みなどを説明しました。また、児童は火おこしにも挑戦。火のある生活のありがたみを実感していたようです。

2月8日

### 牧草改良への取り組みをプロジェクト発表 弟子屈町4Hクラブが全道大会で優秀賞



受賞を報告する皆さん

農業青年で組織する弟子屈町4Hクラブ(郷司幸広会長)の皆さんが、1月25・26の両日、札幌市で開催された平成28年度北海道青年農業者会議でプロジェクト発表を行い、畜産経営部門で優秀賞を受賞しました。同会議での入賞は6年連続で、道内屈指のレベルの高さです。

会議では、3年目となる牧草改良への取り組みについて発表。2月8日、受賞の報告のため役場を訪れた発表者の元山和也さんは「惜しくも全国大会出場とはならなかったが、次代によりバトンをつなげられたと思う。これからも調査・研究を続け、地域での波及効果を高めていきたい」と話しました。

2月3日

### みんなの心の中にいる鬼をやっつけよう おひさま保育園で節分の豆まき



必死に豆を投げたり逃げたり

おひさま保育園(元山久美子園長)で2月3日、節分の豆まきが行われました。

初めに、先生が節分や鬼についてのお話を披露。

みんなの心の中にいる「泣き虫鬼」や「意地悪鬼」「好き嫌い鬼」などを退治しようと約束しました。その後、鬼退治のゲームを行い、豆まきの歌を終えたところで、太鼓の音とともに3匹の鬼が登場。泣いて逃げる子や果敢に豆を投げる子などさまざまでしたが、どうにか鬼を退治して一安心でした。

2月6日

### 新聞配達員が業務を通して地域を見守り 町と道新釧路近郊会が協定を締結



道新釧路近郊会の皆さんと

町では、北海道新聞販売店をつくる道新釧路近郊会と「地域見守り活動に関する協定」を締結しました。

締結式は2月6日、町公民館で行われ、同会の桐原千里会長と吉備津副町長が協定書を交わしました。

協定の内容は、新聞配達員が配達先で新聞や郵便物がたまっているなどの異変に気づいた際、町へ連絡するというもの。地域の見守りの目の充実に期待されます。北海道新聞社・各販売店では、2014年度から道内各市町村と同様の協定を結んでいて、釧路・根室管内では本町が3番目です。

## 自然が創り出す美を体感

ダイヤモンドダスト in KAWAYU 2017



シャボン玉が凍ってびっくり

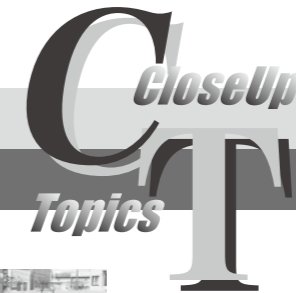
ダイヤモンドダストをライトアップ



会場を彩った無数の雪灯りとアイスレインボーハット

ダイヤモンドダスト in KAWAYU 2017(同実行委員会主催)が2月2日〜22日、川湯神社ほか川湯温泉街で行われました。ダイヤモンドダストを間近で体感できる、毎年恒例のイベントです。メイン会場の川湯神社は「雪灯り」と名付けられたスノーキャンドルが置かれ、幻想的な雰囲気。芸術家・関口恒男氏によるオブジェ「アイスレインボーハット」や、美術家・本間純氏による川湯の古い写真を利用した「川湯歴史懐古」など、芸術作品が訪れた皆さんを楽しませました。また、凍るシャボン玉体験や雪の滑り台も、家族連れなどに好評でした。

## 町の話題



## 町の話題



観客も盛り上がる氷上綱引き



人気のジャガイモ拾い 子どもたちも雪像作りに挑戦

## 冬だからこそ楽しめる日

摩周ウインターフェスタ2017

摩周ウインターフェスタ2017(同実行委員会主催)が2月11・12の両日、ふれあいスペースコラールで開催されました。イベントの少ない冬季の弟子屈町を活性化させようと毎年開催されているもので、今年で11回目。楽しみにしていた子どもたちや家族連れなど、たくさんの方が会場を訪れました。会場には今年も、巨大な雪と氷の滑り台が設置されたほか、チューブスライダーやバギーが子どもたちの人気を集めました。アイスキャンドルなどが飾られた会場では、ジャガイモ拾いやお菓子まき、アイススクリーム作り、お楽しみ抽選会、雪像作りなど趣向を凝らしたイベントが行われたほか、おいしい食べ物のお店が多数出店。本町の地域おこし協力隊も、鳥がらだし茶漬けのお店を出店しました。また、氷上綱引き大会では、熱い戦いが繰り広げられました。11日には、摩周冬空花火の打ち上げが行われ、観客からは歓声が上がっていました。



大人気の雪と氷の滑り台